

イベント開催報告

7月31日(月)に2023年度第1回FD教員セミナー「学生が選ぶベストティーチャーによる授業運営の工夫 vol.3」をオンラインにて開催しました。本セミナーは昨年、一昨年と好評だった「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞教員による講演の第3弾で、今回は経済学部の伊藤健彦准教授、理工学部の中村壮亮教授に授業運営の工夫についてご講演いただきました。多様な所属の先生方にご参加いただき、質疑応答や意見交換もあり、大いに盛り上がりました。

<参加者数：84名 >

学生が選ぶベストティーチャーによる授業運営の工夫

◆伊藤 健彦（経済学部准教授）

「流動的な環境構築を目指して」

- ・授業では、学生が英語を積極的に話せるよう工夫している。
- ・学生が積極的に話すには英語力はもちろん重要だが、他者への信頼感が上がれば英会話に対する積極性も上げることができるといったことが分かった。
- ・他者に対する信頼感は環境によって形成される。多くの新しい人と出会うことで相手への信頼性を判断する機会が増え、他者への信頼感が形成されやすくなると考えられる。そのため、学生が全国から集まっていることを活かし、多くの人と関われるように番号をランダムに振って毎回異なるペアやグループを組んだ。
- ・ディスカッションでは身近なテーマ（例：好きなお菓子、好きなファミレス）を選ぶことで学生同士の交流も盛んになった。
- ・学生の発言が増えたことで、フィードバックも多くなるようになった。

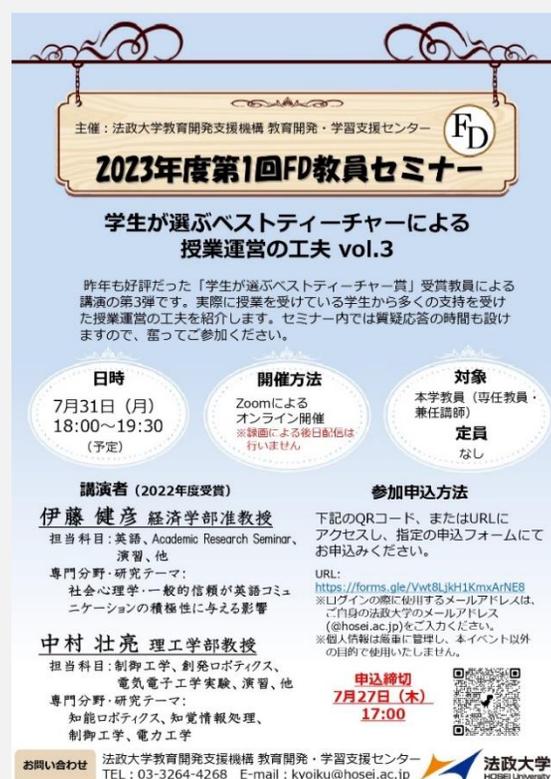
◆中村 壮亮（理工学部教授）

「前のめりに学習できる授業へー顔や活用の見える化」

- ・良い講義とは学習者の立場で構成されていると定義し、いかに学びたくなくなるように工夫されているかを重視した。①学ぶ意義を感じられる②わかりやすい③退屈しないことが必要だろう。
- ・理論等の提唱者や社会背景を伝えて興味・関心を惹くこと（⇒顔の見える化）で退屈しない講義となる。その技術が生まれた背景を説明することで興味を惹くコンテンツとなる。
- ・その後の講義、研究、仕事でどう活かせるかを伝えること（⇒活用の見える化）で学習意義を感じられる。
- ・入試経路が様々で学生のスキル差も大きいため、講義で最低限どこまで理解する必要があるかということを示したり、割愛している部分を紹介して発展的な内容のダイジェストを見せたりすることも効果的である。

参加者アンケートより

- ◆ お二人の先生が、それぞれに、学生に寄り添った形で授業を工夫されている点を詳細に聞いてよかったです。
- ◆ 学生中心に授業を組み立てる、学生の意欲を高めるといった当たり前のことではあるけれども忘れがちな授業の原点を再認識することができました。
- ◆ 授業の方法論だけでなく、授業に対する考え方で言及した内容がよかったです。科目は違っても共感共通することもありました。
- ◆ 教員が楽しんで授業を行っているという雰囲気を感じられ、とても印象的でした。それから、よい質問もたくさん出たと思います。
- ◆ いずれの先生からも、学生が学習する強い動機付けを目的とするユニークな工夫が紹介され、興味深く拝聴しました。特に、多様な学生であることを受け止め、学生個人の意識を刺激する工夫について、具体的には学生間のピア・ラーニングの活用と提供する知識の多角的視点からの伝達について興味深く感じました。
- ◆ ディスカッションの方法、前のめりになるために興味をひく方法など、分野は違っていても、参考になる意見が沢山ありました。
- ◆ 伊藤先生による「信頼」という切り口は、大変よいものでした。お話を伺いながら、学生が教師や友人に信頼感を抱くためには、教員がまず学生を信頼することが重要だと感じました。
- ◆ 中村先生による報告は、授業のデザインの重要性を改めて感じさせるものでした。参考になるところの多い、すばらしい講演でした。
- ◆ 中村先生の「学習者の立場で構成されていること」を分解した3つの要点や、「ここまで理解しておけばOK」という学生への示唆など、どれも大変参考になりました。
- ◆ 学ぶ意義を感じるような工夫について、実際にその研究がどのように活用されているか提示するなど具体的な方策を共有いただけて大変ためになりました。



主催：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター FD

2023年度第1回FD教員セミナー

学生が選ぶベストティーチャーによる授業運営の工夫 vol.3

昨年も好評だった「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞教員による講演の第3弾です。実際に授業を受けている学生から多くの支持を受けた授業運営の工夫を紹介します。セミナー内では質疑応答の時間も設けますので、基にご参加ください。

日時	開催方法	対象
7月31日(月) 18:00~19:30 (予定)	Zoomによる オンライン開催 ※録画による後日配信は 行いません	本学教員(専任教員・ 兼任講師) 定員 なし

講演者(2022年度受賞)

伊藤 健彦 経済学部准教授
担当科目：英語、Academic Research Seminar、演習、他
専門分野・研究テーマ：社会心理学・一般的信頼が英語コミュニケーションの積極性に与える影響

中村 壮亮 理工学部教授
担当科目：制御工学、開発ロボティクス、電気電子工学実験、演習、他
専門分野・研究テーマ：知能ロボティクス、知覚情報処理、制御工学、電力工学

参加申込方法
下記のQRコード、またはURLにアクセスし、指定の申込フォームにてお申込みください。

URL：
<https://forms.gle/Vwt8LjK1KmxArNE8>
※ログインの際に使用するメールアドレスは、ご自身の法政大学のメールアドレス (@hosei.ac.jp) をご入力ください。
※個人情報は厳重に管理し、本イベント以外の目的で使用いたしません。

申込締切
7月27日(木)
17:00

お問い合わせ 法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター
TEL：03-3264-4268 E-mail：kyoiku@hosei.ac.jp 法政大学 HOSEI UNIVERSITY

